

入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 29 年 7 月 14 日
第 9 号

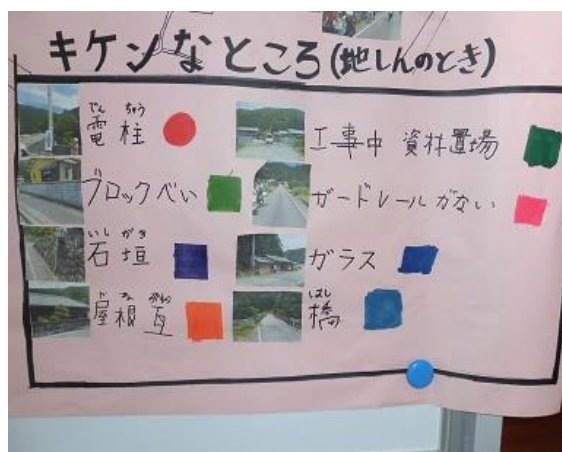
ハザードマップを作ったよ

3・4年生が「総合的な学習の時間」を利用して大栗須地区（小学校下の橋から丸山へ向かう金竜橋までの間）の地震に関するハザードマップを作り、12日の下校会の際、全校児童の前で発表しました。ハザードマップというのは、発生が予測される自然災害について、その被害の及ぶ範囲、被害の程度、さらに避難の道筋、避難場所等を表した地図のことで、今回は地震の際に予測される被害の状況について調べました。大栗須地区は3・4年生6人のうち4人が通学路に利用しており、自分たちが通学している時に大きな地震が起これば、どこがどのように危険だろうかということを考えながら作りました。

実際にその場所を歩き、道路周辺の様子をこまめに観察しながら、地震の時に道路へ崩れてきたり、倒れてきたりするものはないだろうかとチェックしながら、完成させたハザードマップです。調べた結果の一部を紹介します。



電柱（倒れてくる危険性あり）・・・22本
ブロック塀（同上）・・・6か所
石垣（崩れてくる危険性あり）・・・6か所
落ちてきそうな瓦・・・4か所
工事中や資材置き場・・・3か所
ガードレールがないところ・・・4か所
割れそうなガラス・・・2か所
橋（崩落の危険性あり）・・・5か所



わずか1kmにも満たないところで、これだけの危険を子どもたちは見つけました。今回は大栗須地区の一部ですが、他の地区でも状況は同じようなものではないでしょうか。ましてや地震に限定したものですから、大雨や水害などを含めると身近なところに潜んでいる危険性はとても多いということに気づかされました。

皆さんの自宅周辺でも、一度危険な場所はないか見ていただき、お子様と話をしていただけだと思います。また、緊急に対処しなければならない箇所がありましたら、学校へご一報いただければ幸いです。

（入鹿小学校：97-0029）

運動会の練習始まる！

今年の紀和町合同運動会を9月24日（日曜日）〔雨天時は10月1日に延期し、以降は順延〕に行います。それに向けての練習が早くも始まりしました。最初は小学生全員で踊る「よっちょれソーラン」の練習です。今年も踊ります。練習初日となった13日は1年生にとっては初めてです。最初は各クラス別に踊りを覚えているかどうかの確認です。2年生以上はさすがですね。しっかり踊



りを覚えていて、みんな楽しそうに踊って見せてくれました。運動会に向け何度も練習してきたはずなので、もう体が覚えているのでしょうか。（繰り返しの大事さがよくわかりますね。）

そして1年生の番になりました。5・6年生が1年生に手取り足取り丁寧に教えながら、また、上級生の踊りを真似しながら、いきなり曲を通して踊ってみました。最初から上手には踊れませんが、一生



懸命真似をしながら踊ろうとする姿がとても素敵でした。上級生が下級生のいいお手本になり、わからない所をていねいに教える姿を見ると、とても微笑ましいと同時に、とても頼りがいのある上級生に見えます（見えるだけではありませんよ）。踊りに限らず上の子から下の子へきちんと伝えて、それを受け継いでいくことこそ、大切にしていきたい学校のよさだと思います。



恥ずかしながら私にとっては初めての「よっちょれ」です。私はずっと中学校現場にいましたが、以前いた中学校では「南中ソーラン」を踊っていたので、そちらの踊りは知っています。これまで「よっちょれ」とは出会う機会がなく、知りませんでした。実はマナウス日本人学校でもまた別の「ソーラン節」を踊っていましたが、その話はまた別の機会に・・・。



本番ではどんな素敵な踊りを見せてくれるのか、今から楽しみです。みなさんも楽しみにしてください。